



東小だより

横浜市立東山田小学校

学校だより6月号②

令和2年6月11日発行

TEL (594) 4851

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/higashiyamata/>

よいよい学校生活めざして～生活様式のVersion Up



校長 宇都宮 桂

今月2回目の学校だよりを発行します。臨時休業明け、子どもたちがより安心して学校生活を送れるように、保護者の皆様に学校の様子をお伝えし、いっしょに子どもたちを育てていきたいと考えております。

さて、6月1日から学校の段階的な再開が始まりました。第一期として1日～12日まで、5組と1年生全クラスは午前中に登校、2～6年生は、クラスの人数をおよそ半数に分け、地域ごとに2つのグループとして午前・午後に分散して登校し、学校生活を再開しました。

2～6年生はおよそ3ヶ月ぶり、1年生は入学式後わずか一日しか登校していなかったもので、子どもたちの表情は少し硬く、中には担任の先生の名前や自分のクラスを思い出すのに時間を要した子どももいました。

「学校ってどんなところだったかな?」「こんなことを話してもいいのかな?」「あんなことしていいのかな?」と疑心暗鬼の様子も見られました。「だれもが安心して豊かに過ごせる東山田小学校」＝自分のことを表現しても大丈夫、友だちや先生と関わり、楽しいわくわくした学校生活に繋がるように、「学校再開アンケートの実施」「自己表現を認めたり、人との関わり進められたりするよう「子どもの社会的スキル横浜プログラム」を行いました。

また、初日の朝会で養護教諭が、新型コロナウイルス感染防止の話を行い、それを受けて各担任が子どもたちの実態に合わせて「マスクの着用」「手洗いの徹底」「ソーシャルディスタンスの取り方」などの話をし、健康管理に努めています。

そして、1日3時間の授業でしたが、子どもたち一人ひとりに声を掛け、前学年の学習からスタートし、4～5月の家庭学習の課題をもう一度クラスで取り組みました。先生方は、初めて午前・午後と同じ授業を行いました。午前の授業を振り返り、午後の授業に生かす。午後の授業を学年の先生で共有し、明日の午前の授業に生かす。いつも以上に教材研究をよく行い、短時間で効率よく学習を進められるようにしました。また、2つのグループ（オレンジ、黄緑）の子どもたちを繋ぐように、それぞれがお手紙を書いて読みあったり、ビデオレターを撮って見合ったりして、クラス全員で会える日を楽しみにしていたようです。

この2週間の中で、子どもたちは少しずつ学校生活のリズムが戻ってきたと感じています。今後も丁寧に子どもたちを見守り、より安心して学校生活を送れるようにします。15日からは全学級、全児童で午前中4時間授業となります。学級の全児童が顔を合わせることにとなります。通常の学校生活にまた一歩近づき、子どもたちの喜ぶ顔が浮かびます。

ただ、私たち職員は喜んでばかりではられません。「マスクの着用」「手洗いの徹底」「3つの密を避ける」取組を考えなければなりません。そこで、15日からは「時差登校」「方面別下校」としました。登下校時の門や昇降口、手洗い場での密集場面を回避することを考えました。登下校のしにくさも予想されますが、密を避けるために、今はこの方法での登下校をお願いいたします。

また「東山田小学校の新しい生活様式」を、前回の学校だよりに掲載しました。2週間、学校生活を進める中で、子どもたちの取組の様子や気候の変化などから、「新しい生活様式」の変更等が生じています。新型コロナウイルスとの共存生活は、だれもが初めてのことで、学校生活を送る中で、よりよい方法が生まれれば柔軟に対応していくつもりです。「追加」や「変更」を新しい生活様式の「Version Up」として捉えていただくと幸いです。来週からの「時差登校」「方面別下校」等、是非、保護者のみなさまのご理解・ご協力いただき、子どもたちが安心して通える学校づくりに努めます。どうぞよろしくお願いいたします。

